「ミカンコミバエ」の侵入防止対策にご協力お願いします

ミカンコミバエは、マンゴーやアセロラ等の果実や果菜類に寄生する大害虫で、かつて沖縄県でも生息していましたが、1986年に県全域から根絶しました。

しかし、根絶した後も、海外から風等による再侵入のリスクにさらされています。

県では、ミカンコミバエの再定着に備え、誘殺板（ミバエを誘引する薬剤と少量の殺虫剤を染み込ませたもの）を県全域の街路樹等に取り付け、防除を実施しています。

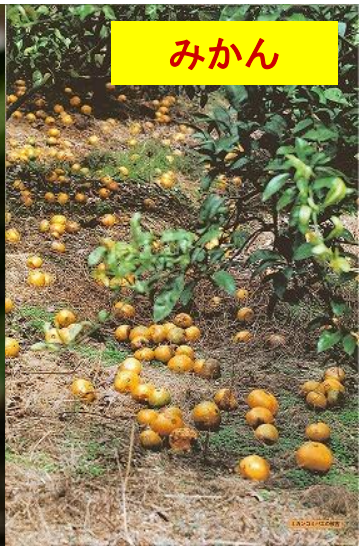
また、侵入警戒調査として、家庭菜園等で栽培されているマンゴー等寄主植物調査を、国・県・市町村・ＪＡおきなわ等関係機関と連携して実施しています。

調査及び防除へのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

防除資材（誘殺板）

※直接触れないで下さい

【 被害果実 】



★卵からかえった幼虫（ウジ虫）が果実類（カンキツ・マンゴー・パパイヤなど）や果菜類（トマト・ピーマン等）を食害します！！

裏面につづく

侵　入　防　止　対　策

- ○ 施設（ビニールハウス・選果場等）は、防虫ネット(1.6㎜以下)を設置する。
- ○ 被覆ビニールやネットの破れは完全にふさぐ。
- ○ 出入口は二重カーテン等を設置し、出入り以外は必ず閉める。
- ○ 果実残渣等は、ビニール袋に入れ処分し、放置しない。
- ○ ハウス内の果実は果実袋で包む。
- ○ 収穫果実は袋に入れたままか、防虫ネット等で覆って選果場まで運ぶ。

対策の例

ネット等の破れの補修

二重カーテン＋留め具

ファスナー付きカーテン

果実残渣等をビニール袋に入れて処分

ビニール袋の口をしっかり閉める

集荷場入口のネット設置

【連絡先】

○病害虫防除技術センター：０９８－８８６－３８８０

○中部農業改良普及センター：０９８－８９４－６５２１

○読谷村役場：０９８－９５８－７２４８

○営農支援課：０９８－８６６－２２８０